

基本課題9 国際理解・国際協調の推進(課題20～21)

課題20 男女共同参画に関する国際協調の推進

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課 評価	H25年度の審議会に おける意見・評価	
44	海外の男女共同参画に関する国際的な取組の収集と提供	広報・啓発活動	市民窓口課	【実施内容】 「出前講座」のメニューに「外国の生活・家庭事情」を加えるとともに、FM等で周知に努める。 講師：市国際交流員	【実施状況】 「出前講座」のメニューに「外国の生活・家庭事情」を掲載した。 実施回数：3回 実施日：9/29(松ノ木寿会) 11/14(猪子場やよいサロン) 11/27(中新百寿会) また、FM放送で啓発を行った。	【評価理由】 計画どおり実施した。	A		A
45	海外の男女共同参画に関する図書等の提供の充実	海外の男女共同参画関連資料の収集・提供	生涯学習課 (図書館)	【実施時期】通年 【内容】・インターネット関連サイトなどにより入手可能な資料を情報収集・提供していく。 【工夫すること】関連サイトや、「女性問題図書総目録」・「新刊案内」等をまめにチェックして、海外の男女共同参画に関する資料を入手し、提供する。 【目標値】国内の著書だけでなく、海外の資料も収集・提供していく。昨年は6冊受入、今年度も6冊以上受入する。	【実施状況】 インターネット関連サイトや女性問題関連の目録・新刊案内情報、書評等を参考に海外の関連資料を収集し提供した。	【評価理由】 目標の6冊を受入することができた。 【問題点等】 情報提供が図書館側からの一方通行的なものにならないよう、利用者の声をしっかりと聞いて、それを反映させていきたい。	A		A

課題21 男女共同参画の視点に立った国際交流・理解の推進

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課 評価	H25年度の審議会に おける意見・評価
46	男女共同参画の視点に立った国際交流・理解を推進する講座等の実施	世界のキッチン (国際理解講座)	地域経営課	<b>【実施時期】</b> 毎月2回 <b>【実施対象】</b> 高校生以上 <b>【内容】</b> 様々な国の食文化を学びながらその国で一般的に食されている料理を実際に作る。家庭でも作れるメニューにし、食を通じて国際理解を深めてもらう。 <b>【工夫すること】</b> 男女共同参画の視点から、11月は夫婦を対象とした内容で開催する。	<b>【実施状況】</b> 4月…カナダ 42人 5月…モロッコ 33人 6月…マレーシア 27人 7月…スペイン 46人 8月…イタリア(親子講座) 14人 9月…フランス 39人 10月…スコットランド料理 30人 11月…夫婦講座 18人 12月…クリスマス料理 33人 1月…ベトナム料理 46人 2月…ロシア料理 44人 3月…トルコ料理 41人 参加者数:413人 (うち男性 64人、女性 349人)	<b>【評価理由】</b> 多くの男性から参加してもらうために夫婦等を対象とした国際理解講座を開催し、外国の食文化を通じた男女共同参画を促した。結果として昨年度男性参加比率5%に対し、今年度は15%と増加している。 <b>【課題等】</b> 男性参加者数は増加しているものの女性に対する比率はまだ低い。男性が参加しやすい内容を引き続き検討していく。	B	B
		多言語交流サロンの実施	商工課 (勤労青少年ホーム)	<b>【実施時期】</b> 平成25年4月～26年3月 毎週木曜日 午後7時30分～9時 <b>【実施対象】</b> 15歳以上35歳未満の青少年 <b>【内容】</b> 男女共同参画の視点に基づき、交流を通じて諸外国の実情等を認識し、お互いに理解を深める。 <b>【目標値】</b> 毎回10人	<b>【実施状況】</b> 男女共同参画の視点に基づき、交流を通じて諸外国の実情等を認識し、お互いに理解を深めた。 開催回数:43回 参加者数:216人(うち男性200人、女性16人) 平均参加者数:5.0人	<b>【評価理由】</b> 目標の10人に対し50%程度の参加者であったため。 <b>【課題等】</b> サロン実施目的が、外国の方(国際交流員)と交流することを通じ、外国語能力を高め、諸外国の実情等を認識することで、諸外国の方とのコミュニケーションを高めることにあり、男女共同参画の視点に立った講座ではないため、今後、本プランの見直しの折に施策とすべきか検討させていただきたい。	B	数値目標はもちろん必要だが、具体的にどのような男女共同参画の視点に基づき実施されたのか、という質的な内容についても評価の対象とすべき。 どのような男女共同参画の視点の話題が出たのか、次回資料を出してほしい。